

消された被爆の真実

終戦から9年(1954年3月1日)、封鎖が解かれた太平洋に初の船出をした第五福竜丸がビキニの海域で遭遇したのは、アメリカの水爆実験だった。当時、900隻近い漁船が同じように「死の灰」を浴びたが、日米両政府の政治決着で被爆は闇に葬られた。その後「核実験反対」のうねりをそらすために、「核の平和利用」が推進され、今日の原発時代が始まった。大石さんは「福島原発の事故と当時の政府・マスコミの隠ぺいは同じだ」と告発する。

お話 大石 又七さん 聞き手 永田 浩三さん (元 NHK チーフ・プロデューサー 現 武蔵大学教授)



(元 第五福竜丸乗組員)

1934年 静岡県生まれ
1953年 第五福竜丸乗組員
1954年 ビキニ海域で水爆実験に遭遇。
1959年 結婚、1960年第一子死産
1992年 肝硬変、C型肝炎、原発性肝癌手術
2003年～ 被爆体験の講演を続ける



主にドキュメンタリーやクローズアップ現代、NHKスペシャルなどで 教養・情報番組など多数制作

<主な番組制作の例>

- 2011年 「大江健三郎 大石又七 核をめぐる対話」 (ギャラクシー賞受賞)
- 2002年 「クローズアップ現代」で菊池寛賞 (国谷裕子キャスターと共同受賞)
- 2001年 ETV特集「問われる戦時性暴力」の番組制作後に改変について、東京高裁で真実を述べた。



神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、西3番出口徒歩約5分
JR「元町駅」下車、西改札徒歩約10分
阪神電車「元町駅」下車、西改札口北出口徒歩約10分
神戸高速「花隈駅」下車、東改札口徒歩約10分

2012年 6月2日(土) 13:00 開場・13:30 開会

神戸市立 生田文化会館 2F 神戸市中央区中山手通 6-1-40
電話 078-382-0861

資料代 一般 1,000円 学生 500円

主催 NHK問題を考える会 (兵庫) 電話・Fax 078-351-0194
後援 兵庫県平和委員会